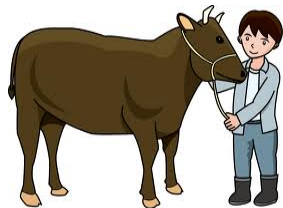


地域の肉用牛関係者が連携した畜産クラスター事例④ 福島県

JA東西しらかわ和牛繁殖振興協議会

発情発見装置の活用による生産性の向上とモデル的大型農場の設置による地域の和牛繁殖生産基盤の維持・拡大



和牛繁殖農家
(実証参加・取り
まとめ)

後継者グループ
(実証参加・取り
まとめ)

○JA東西しらかわ
(事務局・総括・実証取りまとめ)

・発情発見装置を利用した1年1産を目指した飼養管理技術の実証

コントラクター組織
(実証支援)

埴町
(参加者連絡調整)

・100頭規模のモデル的大型農場の設置に向けた検討

福島県
県南農林事務所
(助言・指導)



飼料製造業者
(助言・指導)

JA全農福島
(助言・指導)

【実証内容】

- 発情発見装置による農家の作業負担軽減と分娩間隔短縮に関する取組を実証
- 100頭規模の大型農場の設置に向けた指標づくり及び検討

【効果】

【分娩間隔の短縮による子牛生産の増加】
繁殖雌牛頭数 1,500頭
分娩間隔 13.2ヶ月 → 12.5ヶ月
子牛生産 1,365頭 → 1,440頭 75頭増

【100頭規模農場の設置による子牛生産の増加】
子牛生産 100頭 × 12/12.5 = 96頭増
地区全体で171頭の増加

地域全体で、84百万円の生産拡大

【地域の子牛生産増加額】
子牛171頭(生産増) × 49万円/頭
= 84百万円

※49万円/頭はH25年の福島県平均子牛価格